Product Liability NEWS

jtdna 検索

3号
15.Fwb.2014

JTDNA®

【発行所】
特定非営利活動法人　日本テクニカルデザイナーズ協会
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-22-5 パークスビル 2F
☎03-5875-6175　FAX：03-5875-6176
✉c-japan@jtdna.or.jp

■アクリフーズから学ぶもの■

年末に発生したアクリフーズの冷凍食品農薬混入事件、当初この会社の経営陣は、自社のセキュリティ、衛生管理は万全である、と声高々に記者会見していました。一方、消費者側では、手元にある冷凍食品がリコールの対象品かどうか確認したくても、電話はビジーでつながらず、店舗の店員も確認方法が分からず混乱しましたが、幸い一部のロットで重篤な症状も出ず、派遣社員の給与待遇に対する不満が原因と判明しました。それでもその影響は親会社の経営陣の引責辞任にまで及び、風評被害も未だに尾を引いています。この会社は、2000年に起こした食中毒事件により解体された企業規模一兆円の巨大食品企業「雪印乳業」の後継事業者です。当時も経営陣は責任逃れの記者会見を行い、結局内部告発で会社そのものがなくなりました。企業体質として経営陣のそのような行動が大きなダメージになります。

記者会見も消費者に謝罪しているようには見えない！
ステークホルダーも許してはくれません。

PL 対策ワンポイントアドバイス

一言に PL 対策といっても、業種業態規模などでその取り組み方も異なります。
■製造業
■流通小売事業者
■輸入事業者
規模もそうですが、それぞれ、得手不得手があり、「これなら大丈夫」という答えはありません。
最新の情報を正しく理解し、組織として体制やシステムを構築する、それが基本です。

一昨年より当協会では PL 対策のうち、事故発生後対策（PLD）について賛助会員などの協力を得て、調査や最新技術を利用した試験的取り組みを行ってきました。今年はその成果を発表する予定です。モバイルを活用した「実使用者特定」他、製品安全対策の近未来が垣間見えるシンポジウムになると思います。

■事務局便り■

異常気象とも言うべき大雪被害で、首都圏も未だに回復していません。関東地方では、除雪作業も進まず、幹線道路の閉鎖が続き、コンビニの棚がガラガラになっています。米離れが進んでいますが、「お米は常温保存備蓄のできる優れた食品」であると、見直された方も多いかと思います。

■年度末のため、社員総会開催準備や各規定の見直しなどが進められています。特に、賛助会員会費見直し、認定事業者の資格認定基準の見直し、協会理事会や役員構成の見直しなどを進めています。賛助会費や認定事業関連の改訂は今月中に決定し、3月1日より実施されます。

■新年度の事業計画を取りまとめていますが、ご要望などがありましたら事務局で承ります。ヘッダー記載のメールに、ご意見などをお送りください。（事務局）

■正会員向け専門講習■

正会員はこの講座をそれぞれ2回履修することで、テクニカルデザイナーとPLアドバイザーの資格を得ることができます。

■6月13日（金）開催場所：当協会池袋本部
（1）最新 PL 対策の導入指導（PL アドバイザー）
13：00～14：30（費用一人5，000円）
――――――― 休憩（15分）―――――――
（2）取説制作スキルアップ（テクニカルデザイナー）
14：30～16：00（費用一人5，000円）
（3）質疑応答、意見交換会員交流
16：00～17：00

【申し込み】
http://goo.gl/sOSsdg

INDEX

1ページ・・・・アクリフーズから学ぶもの
事務局便り・正会員専門講習の件
2ページ・・・・首都圏トピック（最新リコール対策）
3ページ・・・・製品事故相談から・PL 検定事務局より
4ページ・・・・シンポジウム開催案内

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

JTDNA®
PLnews
2014年2月号

■モバイルを使用した最新リコール対策■

前回のニュースでもお知らせした通り、昨年1月より一般財団法人流通システム開発センター国際部の進めている次世代QRコード（GS1QRコード）を利用した最新リコール対策について、当協会の賛助会員などで構成された研究部会がスタートしました。今月12日には、GS1 国際部の C 会議室にて第2回目が開催され、14日の GS1 モバイル懇談会（GS1 国際部のモバイル関係者の会合）にて内部公表する内容を決定しました。この内容については、ビジネスモデル特許（申請手続き中）に関わるので、公表は、3月14日明治記念館にて GS1 国際部にて開催する下記セミナー、その後は4月11日の JTDNA 製品安全シンポジウムになります。GS1B2C（モバイル）セミナーの内容は下記の通りで、どなたでも参加できます。

青山の流通システム開発センターC会議室でのGS1モバイル懇談会の様子

『GS1 B2C（モバイル）セミナー』開催のお知らせ

－GS1の標準化への取組みと国内先進事例の紹介－

1. 日　時：2014年3月14日（金）13：30~16：30
2. 場　所：明治記念館　1階　鳳凰の間
（最寄り駅）地下鉄青山一丁目駅、JR信濃町駅
3. 受講対象者：
商品メーカー、小売業のモバイル、マーケティング担当者、モバイル機器、ソフトウェアーサービスのシステム企画、システム開発に携わる方、学識経験者
4. アジェンダ：（敬称略）
①基調講演（仮題）『無印良品におけるオムニチャネル』
㈱良品計画　WEB事業部長　奥谷孝司
②『GS1 モバイルの動向と、モバイル環境で利用するGS1 標準』当センター　国際部
③『B2C 用商品情報提供の動向』1WorldSync Japan
職務執行役員社長　朴　水石
④『製品安全に関する製品情報提供と、QRコードの利用』
JTDNA（日本テクニカルデザイナーズ協会）
理事長　渡辺　吉明
5. 受講料：無料

申し込みは
http://goo.gl/TZcfzE

■GS1QRコードを利用したリコール対策研究部会■

左記の一般財団法人流通システム開発センター 国際部の GS1 モバイル懇談会に先駆け、当協会でも、下記の通り、当協会にご協力をいただいている各方面の方々が立ち上げメンバーになり、研究部会を開催してきました。

【部会員】（平成26年2月11日現在）

JTDNA 理事長 渡辺吉明
流通システム開発センター
流通標準本部長　西山智章様
国際部　市原栄樹様
森　修子様
（株）ベルーナ　クオリティマネジメント部寺山正洋様
日本フォーム印刷工業連合会　専務理事　山口　実様
株式会社あっぷるタイム　代表上川　晃様
有限会社マニュアルハウス　代表　山田清美様
株式会社アノン　代表取締役　野沢高一様
中村洋心事務所　代表　中村洋心様
通販エキスパート検定　代表理事　渡辺友絵様
株式会社マネージ　専務取締役　藤田　聡様
TDN 社インターナショナル株式会社　渡辺欣洋
日本印刷新聞社　編集部　山成由利子様
（書記）田邉俊一郎（JTDNA 事務局）

■第1回部会

H25年12月 10 日（火）
開催場所：JTDNA 本部（池袋）
【内容】主旨の確認と発起人顔合わせ・ご紹介など

■第2回部会

H26年2月 12日（水）
開催場所：流通システム開発センター C 会議室
【内容】公表内容の検討、部会テーマの作成

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

JTDNA®
PLnews
2014年2月号

製品事故相談から

当協会では、製品事故の事業者の相談と被害者の相談を、池袋の本部にて対応しています。
事業者側で年間15件程度、被害者側も5件程度の相談を受けています。多くは保険処理を適切に行えば解決することが多いです。「最新！PL 対策解説書 2013」でも書いていますが、製品事故データベースに消防などから報告された場合、事業者は「明らかな欠陥」でないと、積極的な被害者救済の行動を起こせません。1月5日に埼玉県で発生した、中国製電気ストーブが火元の火災事故についてご報告します。

■事故経緯

昨年11月頃、当協会会員のご家族が家電量販店で「石英管電気ストーブ」を購入、1歳と4歳のお子様が寝ている部屋で使用していたところ、何らかの弾みで前倒しとなり、塩ビ製床材に、300℃という高温になったヒーター前面の金網が触れて発火、そのまま延焼したことが事故の直接原因です。若い母親は、「電源は切った」と証言されており、子供の悲鳴で戻った時には既にヒーターと床面の間から炎が上がっていて、1歳の女児を救出した後、再び戻り3歳の男の子を救出しました。部屋は全焼し、男の子は65%の全身熱傷で救急搬送され、1か月以上生死の境をさまよい、途中、救命のために両腕切断、足の指も一部切断手術を受け、最近やっと落ち着いたようです。1月9日に会員同行でそのご家族が本部にお越しになり、相談対応を行った協会の認定事業者が調査を開始しました。

■事業者の対応

家電量販店に連絡するも、家電量販店の電話対応は、「担当が違うので本店に連絡してください。」とのことで、会社組織としての対応はなく、その後も連絡はありません。重大事故の場合、被害者は家族が働くこともできず、住む家はなくなり、病院では高額な治療費が発生し大変な負担になります。その後、認定事業者により原因調査として、所轄消防署を訪問したり、原因となった製品をネットで複数購入し、想定される原因を特定しています。報告はNITE、消費者庁などにも協会が関係団体として実施し、既に事業者も知ることになったはずですが、事故から90日を経過しても未だに事業者から被害者には電話1本ありません。

■賠償請求の準備

重度後遺症であり数億円の賠償になるので、直ちに弁護士と連携し、訴訟を前提とした被害請求の準備を行なっています。事故の原因になった「製品の欠陥」があるのかどうかが重要なポイントになります。

■設計上の欠陥

倒れやすい構造の電気ストーブ、これほど危険なものはありません。さらに、ヒーター前面の最も高温になる金網には保護カバーもなく、触れただけで大やけどをします。一言でいえば、電気コンロを立てて暖房機として販売しているようなものです。
確かに、電気ヒーターのPSEにある「転倒防止スイッチ」は底に着いていますから、当然倒せば通電は遮断されます。しかし、床面に高温になった金網が直接触れてしまい、結果、火災になりました。
高温になる金網に触れないようなガードを付ける、簡単に倒れない構造にする、また主電源スイッチを付けて、誤って電源が入ってしまうことを防ぐなどの対策ができていないのは、明らかな「設計上の欠陥」となります。

■自己矛盾

また、取説には「製品の前側付近50 cmには物を置かない」と書いてあっても、パッケージの大きな写真には、本体の下にはアクリル繊維起毛の敷物、すぐ横にはクッションなど、可燃物が配置されています。これでは、いくら取説にて注意喚起しても「自己矛盾」を証明しています。
こういう製品には、まだまだ沢山の欠陥があります。

PL検定出題事例

前回の2号でのPL検定の例題はまさに上記の事例そのものです。検定を受けることで取扱説明書や本体表示、カタログやパッケージなど、全体をしっかり見直すこと、他の事故事例を対岸火事にしない、何よりも消費者保護を第一にした社内体制を構築することです。
（PL検定事務局長　田邉俊一郎）

【例題】
事業者は、販売後の責任を明確にした「質のよいアフター・サービス」を提供することにより、ブランド力を高めることができる【解答：○】

【解説】

PL（Product Liability）とは【製造物責任】、わかりやすく言うと「販売後の事業者責任」、即ち「アフター・サービス」のことです。欠陥製品を流通・販売した事業者も、もちろん責任を問われます。事故になった場合、良い会社やお店は「たらい回し」などせず、迅速に被害者救済を実施し、被害拡大を防止すべく、あらゆる手段を講じます。「購入時も購入後も、質の良い対応をする会社やお店」、これこそが「PL対策の本質」なのです。

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

後援（予定） 消費者庁

主催　　特定非営利活動法人 日本テクニカルデザイナーズ 協会（略称　JTDNA）

事務局電話　03-5875-6175　eMail　c-japan@jtdna.or.jp

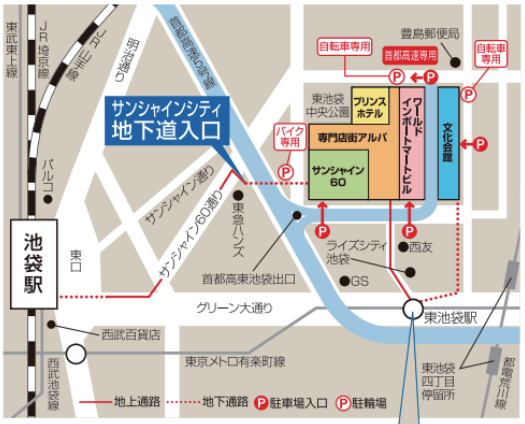
第6回 JTDNA製品安全シンポジウム2014

【メインテーマ：リコール対策】

昨年末に冷凍食品の農薬混入事件が発生し、260万個以上の製品回収、さらに製造者とその親会社の経営陣の引責辞任にまで発展しました。食品のこのような事故は後を絶ちません。また、経済産業省所管の工業製品も、特に暖房器具などを中心に重大事故が多発しています。国際社会の中でオムニチャンネルという流通多様化が益々進み、PL対策のPLP（予防策）、そしてPLD(事故発生後対策）の取り組み強化が一層求められます。昨年は経済産業省から、ECサイト運営者、大手家電量販などに対して協力要請を行い、不良欠陥品を市場に出さないための行政監視を強めています。経済産業省では新たに「製品安全に関する流通事業者向け ガイド」を作成し、その冒頭に消費生活用製品の新規完成品を対象として明記、「安全な製品の供給」「消費者が安全に使用するための情報の提供」「リコール体制整備」などが示されています。

具体的に何をすれば良いのか、当協会のシンポジウムで、昨年1年の取り組みの報告などを通し、具体的に事業者が「製品安全対策」に取り組むための最新情報を、前半の基調講演、後半の意見交換などでお伝えします。

(1)開催日　平成26年4月11日（金）
(2)開催場所　サンシャインシティ文化会館5階　501ホール アクセス：http://goo.gl/hDPNon
(3)定員　150名（無料　会員活動展示ブース有り）
(4)開始　13時15分（受付開始12時30分）
(5)昨年度及び今年度の事業報告　理事長　渡辺吉明
(6)ご挨拶　消費者庁事故調査室（登壇者調整中） 最新の消費者安全行政（仮題30分）
(7)基調講演　製品事故データベースの活用など（仮題30分） 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE） 登壇者調整中
(8)基調講演　GS1QRコードを利用した最新リコール対策（仮題30分） 一般財団法人　流通システム開発センター 国際部主任研究員　市原栄樹様
休憩15：00～15：15
(9)誤使用防止とリコール対策トークセッション ・独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）（登壇者調整中） ・株式会社ベルーナ　法務部　廣瀬 暁様 ・一般社団法人　流通システム開発センター　市原栄樹様 ・コーディネーター　JTDNA理事長　渡辺吉明
(10)終了挨拶（終了予定時間　16時30分）

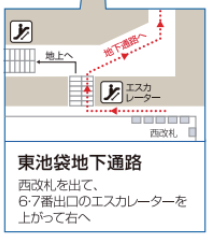


電　車　池袋駅から徒歩8分

東池袋駅
（東京メトロ有楽町線）から
徒歩3分

都電荒川線
東池袋四丁目停留所から
徒歩4分

自動車　首都高速5号線
東池袋出口から直結



■内容などについては確定次第、当協会サイト、メルマガ、PLnewsなどでお伝えします。

■web受付フォームは　http://goo.gl/FdQ2

分かりやすくご記入ください

ご氏名	勤務先	所属（職業）
住所　〒		
連絡先電話番号	FAX	eMail

お申し込みは **事務局 FAX 03-5875-6176**

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.